



2022年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月15日

上場会社名 株式会社幸和製作所 上場取引所 東
 コード番号 7807 URL <https://kowa-seisakusho.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉田 秀明
 問合せ先責任者 (役職名) 統括部長 (氏名) 山川 晋 TEL 072 (238) 0605
 四半期報告書提出予定日 2021年10月15日 配当支払開始予定日 2021年11月15日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有（当社ホームページ）
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2022年2月期第2四半期の連結業績（2021年3月1日～2021年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第2四半期	2,882	9.4	356	120.3	350	85.2	239	59.3
2021年2月期第2四半期	2,634	△23.2	161	53.2	189	13.1	150	△13.7

（注）包括利益 2022年2月期第2四半期 291百万円（91.2%） 2021年2月期第2四半期 152百万円（37.3%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第2四半期	55.12	54.42
2021年2月期第2四半期	34.93	33.38

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第2四半期	4,439	1,479	32.3	329.94
2021年2月期	5,084	1,227	23.4	273.36

（参考）自己資本 2022年2月期第2四半期 1,435百万円 2021年2月期 1,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2022年2月期	—	6.00	—	—	—
2022年2月期（予想）	—	—	—	24.06	30.06

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2022年2月期の連結業績予想（2021年3月1日～2022年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,580	7.0	605	64.2	600	54.7	435	12.0	100.23

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期2Q	4,350,990株	2021年2月期	4,343,250株
② 期末自己株式数	2022年2月期2Q	66株	2021年2月期	66株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期2Q	4,349,662株	2021年2月期2Q	4,309,221株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として確約する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算説明資料については、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の収束が依然として見えない中、ワクチン接種の普及や景気支援策等により一部持ち直しの動きがみられるものの、度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出により、厳しい状況で推移いたしました。また、東京オリンピック・パラリンピックが開催される中、第5波となる感染拡大や感染力の強い変異ウイルスが引き起こすワクチン接種完了者への感染「ブレイクスルー感染」が報告されるなど、今後も厳しい状況が続くと予想されます。

このような状況のなか、当社グループは、社員とその家族の健康と安全確保のためワクチン接種を推進し、職場での三密回避徹底やWeb会議を活用しながら、新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めつつ、事業活動を行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言の影響がチェーンストアルートの一部で見られたものの、2020年11月に発売した「シトレア」を中心とする歩行車の売上が堅調に推移した結果、28億82百万円（前年同期比9.4%増）となり返品調整引当金控除後の売上総利益は、13億89百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

利益面につきましては、物流費高騰などの影響が一部であったものの、前年度から取り組んでいる固定費抑制を推進した結果、営業利益は3億56百万円（前年同期比120.3%増）となり、営業外収益として補助金収入11百万円および賃貸収入16百万円、営業外費用として支払利息14百万円および為替差損16百万円等を計上した結果、経常利益は3億50百万円（前年同期比85.2%増）となりました。また、特別利益に連結子会社である株式会社幸和ライフゼーションのデイサービス事業の事業譲渡益29百万円等を計上したことにより、税金等調整前四半期純利益は3億79百万円（前年同期比111.9%増）となりました。これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等1億36百万円および非支配株主に帰属する四半期純利益3百万円を計上したことにより2億39百万円（前年同期比59.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度末より、報告セグメントの区分を変更しております。前第3四半期連結累計期間まで「その他」に含めておりましたEC事業の重要性が増したため、独立表記としております。このため、前年同期比較の金額および増減率につきましては、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①介護用品・福祉用具製造販売事業

介護用品・福祉用具製造販売事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言の影響がチェーンストアルートの一部で見られたものの、歩行車をはじめとする介護ルートの売上が堅調に推移し25億28百万円（前年同期比19.9%増）となり、セグメント利益は4億4百万円（前年同期比66.1%増）となりました。

②介護サービス事業

介護サービス事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による緊急事態宣言の影響が一部で見られたことに加え、2021年1月1日付でデイサービス事業の売却・譲渡を行ったことから1億円（前年同期比69.9%減）、セグメント利益は10百万円（前年同期は7百万円のセグメント損失）となりました。

③EC事業

EC事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、緊急事態宣言や外出自粛要請に伴う「巣ごもり需要」による生活必需品のネット通販需要拡大を背景に、車いす・シルバーカー等の販売が堅調に推移いたしました。その結果、売上高は3億35百万円（前年同期比33.3%増）、セグメント利益は17百万円（前年同期比116.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して6億8百万円減少し、26億61百万円となりました。これは主に、現金及び預金8億35百万円等の減少要因が商品及び製品1億26百万円等の増加要因を上回ったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して37百万円減少し、17億77百万円となりました。これは主に、有形固定資産に含まれる建物及び構築物9百万円、無形固定資産に含まれるのれん8百万円、リース資産13百万円等の減少要因によるものであります。

（負債および純資産の部）

流動負債は、前連結会計年度末と比較して2百万円増加し、15億74百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金2億11百万円、未払法人税等89百万円等の増加要因が、未払金79百万円、1年内返済予定の長期借入金1億69百万円等の減少要因を上回ったことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して8億99百万円減少し、13億85百万円となりました。これは主に、財務体質が改善されたことにより長期借入金8億89百万円の返済を実行したこと等の減少要因によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して2億51百万円増加し、14億79百万円となりました。これは主に、新株予約権の行使による資本金2百万円、資本剰余金2百万円、および親会社株主に帰属する四半期純利益2億39百万円等の計上により利益剰余金等が増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、9億98百万円となり、前連結会計年度末と比較し、8億35百万円の資金減少となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは3億14百万円の収入（前年同期は1億68百万円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益3億79百万円、仕入債務の増加額1億98百万円、および減価償却費1億9百万円等の増加要因が、たな卸資産の増加額1億45百万円、売上債権の増加額54百万円、その他の減少額95百万円等の減少要因を上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは38百万円の支出（前年同期は35百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出24百万円、無形固定資産の取得による支出21百万円等の減少要因が、従業員に対する貸付金の回収による収入6百万円等の増加要因を上回ったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは11億50百万円の支出（前年同期は54百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出10億58百万円、リース債務の返済による支出52百万円、配当金の支払額43百万円の減少要因によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年2月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績及び今後の見通しを踏まえ、2021年4月14日付「2021年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表した通期業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2021年10月15日）公表の「第2四半期業績予想と実績の差異および通期業績予想並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。なお、上記の予想は、現時点で入手可能な情報および合理的であると判断される一定の前提に基づくものであり、実際の業績は今後の新型コロナウイルス感染症の収束時期など様々な要因により変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,833,876	998,758
受取手形及び売掛金	754,150	813,925
商品及び製品	499,333	626,081
仕掛品	53,878	39,666
原材料及び貯蔵品	50,857	99,319
その他	78,503	85,278
貸倒引当金	△898	△1,369
流動資産合計	3,269,701	2,661,660
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	328,011	318,161
機械装置及び運搬具（純額）	5,766	8,165
土地	641,388	641,388
リース資産（純額）	3,475	5,337
使用権資産（純額）	458,331	450,890
その他（純額）	101,881	102,779
有形固定資産合計	1,538,855	1,526,722
無形固定資産		
リース資産	27,633	13,705
のれん	51,984	43,320
その他	54,380	64,965
無形固定資産合計	133,998	121,990
投資その他の資産		
投資有価証券	8,879	7,942
繰延税金資産	92,367	89,352
その他	40,298	31,381
投資その他の資産合計	141,545	128,677
固定資産合計	1,814,399	1,777,390
資産合計	5,084,100	4,439,051

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	486,397	698,117
1年内返済予定の長期借入金	413,272	243,710
リース債務	106,352	100,655
未払金	379,713	300,067
未払法人税等	42,922	132,276
賞与引当金	39,103	36,989
返品調整引当金	4,479	4,701
資産除去債務	2,367	—
その他	96,713	57,558
流動負債合計	1,571,321	1,574,076
固定負債		
長期借入金	1,828,099	939,082
リース債務	425,883	414,999
資産除去債務	5,650	5,650
退職給付に係る負債	9,871	9,912
その他	16,107	16,178
固定負債合計	2,285,612	1,385,822
負債合計	3,856,933	2,959,899
純資産の部		
株主資本		
資本金	573,245	575,374
資本剰余金	499,616	501,744
利益剰余金	154,115	350,442
自己株式	△95	△95
株主資本合計	1,226,882	1,427,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,026	163
繰延ヘッジ損益	—	6,307
為替換算調整勘定	△40,635	1,598
その他の包括利益累計額合計	△39,608	8,069
非支配株主持分	39,893	43,616
純資産合計	1,227,166	1,479,152
負債純資産合計	5,084,100	4,439,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
売上高	2,634,556	2,882,688
売上原価	1,324,125	1,493,379
売上総利益	1,310,430	1,389,309
返品調整引当金戻入額	39,088	4,479
返品調整引当金繰入額	8,286	4,701
差引売上総利益	1,341,232	1,389,087
販売費及び一般管理費	1,179,589	1,032,981
営業利益	161,643	356,105
営業外収益		
受取利息	785	393
受取手数料	2,341	253
デリバティブ評価益	—	9,603
為替差益	532	—
補助金収入	43,135	11,712
貸貸収入	9,860	16,589
その他	6,364	4,490
営業外収益合計	63,020	43,042
営業外費用		
支払利息	20,957	14,976
売上割引	6,183	7,450
デリバティブ評価損	1,203	—
為替差損	—	16,880
貸貸費用	6,735	8,232
その他	241	860
営業外費用合計	35,321	48,400
経常利益	189,342	350,747
特別利益		
固定資産売却益	37	120
事業譲渡益	—	29,119
特別利益合計	37	29,239
特別損失		
固定資産除却損	33	0
投資有価証券評価損	10,000	—
特別損失合計	10,033	0
税金等調整前四半期純利益	179,345	379,986
法人税等	26,636	136,505
四半期純利益	152,709	243,481
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,190	3,723
親会社株主に帰属する四半期純利益	150,519	239,758

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
四半期純利益	152,709	243,481
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	441	△863
繰延ヘッジ損益	△3,459	6,307
為替換算調整勘定	2,619	42,234
その他の包括利益合計	△398	47,678
四半期包括利益	152,311	291,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	150,120	287,437
非支配株主に係る四半期包括利益	2,190	3,723

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	179,345	379,986
減価償却費	92,420	109,349
のれん償却額	8,664	8,664
投資有価証券評価損益 (△は益)	10,000	—
事業譲渡損益 (△は益)	—	△29,119
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△613	470
受取利息及び受取配当金	△811	△462
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△30,802	222
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,010	40
賞与引当金の増減額 (△は減少)	42,643	△2,113
支払利息	20,957	14,976
固定資産除売却損益 (△は益)	△3	△120
デリバティブ評価損益 (△は益)	1,203	△9,603
売上債権の増減額 (△は増加)	72,974	△54,033
たな卸資産の増減額 (△は増加)	46,417	△145,311
仕入債務の増減額 (△は減少)	△40,107	198,033
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△29,365	△9,712
その他	△159,785	△95,895
小計	212,128	365,373
利息及び配当金の受取額	811	462
利息の支払額	△21,302	△15,033
法人税等の還付額	—	1,150
法人税等の支払額	△22,885	△37,474
営業活動によるキャッシュ・フロー	168,751	314,479
投資活動によるキャッシュ・フロー		
従業員に対する貸付けによる支出	△5,164	—
従業員に対する貸付金の回収による収入	6,525	6,313
有形固定資産の取得による支出	△32,866	△24,854
有形固定資産の売却による収入	49	120
無形固定資産の取得による支出	△8,705	△21,315
投資有価証券の取得による支出	△321	△308
その他	4,651	1,074
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35,830	△38,969
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	450,000	—
長期借入金の返済による支出	△363,670	△1,058,579
株式の発行による収入	17,587	4,226
リース債務の返済による支出	△49,283	△52,734
配当金の支払額	—	△43,431
財務活動によるキャッシュ・フロー	54,633	△1,150,518
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,652	39,891
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	174,902	△835,117
現金及び現金同等物の期首残高	2,639,163	1,833,876
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,814,065	998,758

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額(注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注)2
	介護用品・福祉用具製造販売事業	介護サービス事業	EC事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,050,357	332,776	251,422	2,634,556	—	2,634,556
セグメント間の内部売上高又は振替高	57,721	—	—	57,721	△57,721	—
計	2,108,078	332,776	251,422	2,692,277	△57,721	2,634,556
セグメント利益又は損失(△)	243,303	△7,380	8,019	243,942	△82,299	161,643

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△82,299千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△85,551千円およびその他の調整額3,251千円が含まれております。

なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年3月1日 至 2021年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額(注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注)2
	介護用品・福祉用具製造販売事業	介護サービス事業	EC事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,447,876	99,650	335,161	2,882,688	—	2,882,688
セグメント間の内部売上高又は振替高	80,558	654	—	81,212	△81,212	—
計	2,528,434	100,304	335,161	2,963,901	△81,212	2,882,688
セグメント利益	404,221	10,313	17,380	431,914	△75,808	356,105

(注) 1. セグメント利益の調整額△75,808千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△76,707千円およびその他の調整額899千円が含まれております。

なお、全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、これまで「その他」に含めておりました「EC事業」の金額的重要性が増したため、独立した報告セグメントとして扱うことといたしました。

これにより、当社グループの報告セグメントは、「介護用品・福祉用具製造販売事業」、「介護サービス事業」、「EC事業」3区分に変更しており、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。